

病院 大幅赤字

4~9月 3団体調査

11/16 玄福

日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会はこのほど、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた病院経営調査の結果を発表しました。4~9月の半年間で大幅な赤字に陥っていることを示し、「年度内で取り戻せることはありえない」として国に病院支援を進めるよう求めました。

調査は12日に発表され、1460病院から有効回答を得ました。

収入に対する利益の割合を示す

「利益率」を見ると、9月は平均2.0%（1064万円）の赤字でした。10%前後の赤字だった4~6月に比べると一定持ち直したもの、4~9月では5.7%

（1億8962万円）の赤字。コロナ患者の専用病床を整備している「重点医療機関」に限ると、4~9月は6.4%（4億2948万円）の赤字で、依然として厳しい経営状況が続いている。

赤字になった病院数を見ても、4~6月の各月はいずれも6割超で、7~9月は5割前後で推移しています。3団体は「上半期の医業収支の悪化は目に余るものがあり、今後は冬季賃与の支払いなど資金需要が増加していく時期になる」と窮状を訴えています。